

第2節 PTAの普及

1. 急速な組織化の進展

CIE、文部省、地方軍政部、地方社会教育担当者などによる PTA 設立の勧奨活動により、各地域で PTA 設立の気運が高まり、一気に組織化が図られるようになっていった。

文部省の「父母と先生の会委員会」による「PTA 結成の手引き」が公表されてから1年後の昭和23年（1948）4月には、全国の PTA 設置状況は小・中学校とも早くも7割近くに達しており、制度発足が遅れた高校でも4割を超える状況となっている。

ただし、学校後援会、父兄会などの旧来の組織のみがある学校、あるいはそれと新組織が併存している学校もかなり（3割ほど）残っている状況も見られる。

表1：学校種別全国 PTA 等組織結成率

出典：文部省 PTA 全国実態調査報告				
	PTA のみ	旧来の団体	両者併存	なし
小学校	68%	15%	16%	1%
中学校	67%	17%	13%	3%
高校	43%	35%	16%	6%

また、2年近く後に行われた、昭和25年1月の調査では、小学校では93%の学校に PTA が組織され、中学校でも89%、高校でも81%と、この段階で全国の極めて多くの学校に PTA が作られている。その会員数も小、中、高を併せて1,500万人に上まるまでになっている。さらに、このときの調査では、すでに25県において連合体が結成されているということも報告されている。

表2：学校種別 PTA 結成状況

	学校総数	PTA 数	結成率	会員数（千人）
小学校	20,953	19,486	93.0	10,135
中学校	12,416	11,053	89.0	3,953
高校	2,600	2,106	81.0	896

計	35,972	32,645	87.7	14,984
---	--------	--------	------	--------